

夏休みから始める能楽親子体験教室発表会

講師 奥川 恒治 氏プロフィール



重要無形文化財総合指定保持者

観世流準職分

社団法人日本能楽会会員

公益社団法人日本能楽協会会員

公益社団法人観世九理事

1965年生まれ 6歳より稽古を始め7歳「鶴亀」にて初舞台をし、その後子方(子役)を経て18歳にて三世観世喜之師に内弟子入門する24歳にて独立、「石橋」「乱」「道成寺」「望月」「安宅」「翁」を披露シンガポール、イギリス、韓国、インドネシア、オランダ、イラン等海外公演に参加

平成17年より邦楽教師として川口市の中学校で出張授業を行う

平成18年より「奥川恒治の会」を主催

埼玉県及び新宿区の生涯学習の講師を勤め、平成22年より埼玉県蓮田市教育推進専門員として、蓮田市児童・生徒及び保護者への指導、能楽鑑賞を提供

演目 あらすじ

「鶴亀（つるかめ）」

新年のお祝いの儀式に、たくさんの人々が集まり、皇帝は天下泰平を願ってお祝いの舞を舞います。皇帝の気分で優雅に力強く舞います。

「吉野天人（よしのてんにん）」

吉野の山は桜が満開、美しい桃色になっています。あまりの美しさにひかれて、天人もやって来ました。山の上へ下へと、ふわふわ飛びながら花を見て、たわむれています。美しく、かわいい天人を舞います。

「玉鬘（たまかざら）」

源氏物語の登場人物の一人、玉鬘の君は評判の美少女でした。暮らしている光源氏の家には、次々と交際を望む男性がやって来ます。心のきれいな玉鬘の君が、恋のゆうつに悩む、ちょっと大人の舞です。

謡い（うたい）・・・能の台本を節と共に謡います。

仕舞（しまい）・・・能の舞う部分だけを舞います。